



ろくべん館だより

こんにちは。ろくべん館の管理人の森上です。令和4年の新しい年を皆さん健やかに過ごしてでしょうか。寒い冬から暖かな春に早くなってもらいたいものです。

さて、ろくべん館の改修のお話もいろいろとしてきましたが、新たな玄関棟に新コーナーとして大鹿村の「日本で最も美しい村フォトコンテスト」の入賞作品の展示を行います。このフォトコンテストは2年に1回行われ、昨年が第8回目でしたのでもう十数年の長きにわたり開催されているイベントになります。最近の第8回のフォトコンテストには123作

品の応募があったそうです。その中から、最優秀作品1点、優秀作品4点、入選10点が選ばれました。第7回までは、山岳写真家として有名な白旗史朗先生が審査委員長をされましたが亡くなられて、第8回からはフォトエディターの板見浩史先生に審査をお願いいたしました。11月14日に村の表彰式とともに第8回フォトコンテストの表彰式が行われ入選された素晴らしい写真を拝見させていただきました。今後はろくべん館の中にフォトコンテストの入賞作品を展示するスペースができますので来館の折にはぜひご覧になってください。



最優秀賞 黄金の逆さ銀杏